

3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力

○米作りと寒い夏の克服

東北地方の平野や盆地：古くから米の生産が盛ん

→太平洋側では、(やませ ***)の影響を受けて収穫量が減る(冷害)が起こることがある

例) 1993 年の冷害：東北地方が被害を受け、日本中で米不足となる

→「ひとめぼれ」など冷害に強い品種の栽培が広がる

※(やませ)とは、主に6月から8月にかけて、東北地方を中心に吹く冷たい湿った北東の風のこと。やませが吹くと、東北地方の太平洋側で霧や雲が発生し、米の収穫量が減少する

○減反政策と銘柄米の開発

日本人の食生活の変化：1970 年代に米の消費量が減り、米が余るようになる

→政府は米の生産量を減らす(減反政策)を始める

→大豆や麦などへ転作が進み、(銘柄米)の開発も進む

例)「あきたこまち」(秋田県)、「はえぬき」・「つや姫」(山形県)など

※(減反政策)とは、政府が各県で生産できる米の量を決定する政策のこと。海外からの米が輸入されることを見込み、2018 年度に減反政策は廃止

○冷涼な気候を生かした農業と食文化

東北地方の農産物：そばや小麦の栽培も行われる

→そばや小麦粉を使った食文化が根付く

例) わんこそば(岩手県)、稲庭うどん(秋田県)など

東北地方の太平洋側の農牧業

とのおの
遠野市(岩手県)：ビールの原料となるホップの産地

さんぽんぎはら
三本木原(青森県)：にんにくやごぼう、ながいもなどの産地

北上高地：乳牛の牧場が多くみられる